

**次期リサイクル施設整備・運営事業
落札者決定基準**

令和 7 年 4 月

佐賀県東部環境施設組合

< 目 次 >

第1節 落札者決定基準の位置付け	1
第2節 落札者決定の手順	1
1 入札参加資格審査	1
2 事業提案審査	1
3 落札者の決定	1
第3節 事業提案審査の方法	3
1 基礎審査	3
2 非価格要素審査	3
3 価格審査	5
4 総合評価	5
第4節 事業提案審査の視点	5

第1節 落札者決定基準の位置付け

次期リサイクル施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者は、施設の整備及び運営に関する専門的な知識やノウハウが求められる。

そのため、佐賀県東部環境施設組合（以下「本組合」という。）は、施設性能・機能等の価格以外の要素（以下「非価格要素」という。）及び価格によって本事業の落札者を決定する総合評価落札方式による一般競争入札を採用する。

落札者決定基準は、総合評価落札方式によって落札者を決定するに際し、応募者から提出された事業提案書を評価する基準として示すものである。

第2節 落札者決定の手順

1 入札参加資格審査

本組合は、応募者から提出される入札参加資格審査に関する提出書類により、応募者が入札説明書に示した入札参加資格要件をすべて満たしていることを確認する。なお、入札参加資格要件を満たしていることが確認できない応募者は失格とする。

入札参加資格審査の結果は、全応募者に対して個別に通知する。

2 事業提案審査

(1) 基礎審査

本組合は、事業提案書に記載された内容が落札者決定基準に示す基礎審査項目を全て満たしていることを確認する。なお、基礎審査項目を満たしていることが確認できない応募者は失格とする。

(2) 非価格要素審査

次期リサイクル施設整備及び運営事業者選定委員会（以下「委員会」という。）は、落札者決定基準に基づいて応募者から提出された事業提案書を評価して得点化する。なお、非価格要素審査に当たっては、ヒアリングを実施する。

(3) 価格審査

委員会は、落札者決定基準に基づいて入札価格を得点化する。なお、入札価格が入札説明書で示した予定価格を超過した応募者は失格とする。

(4) 総合評価

委員会は、非価格要素審査及び価格審査の得点を合計して総合評価点を算出し、落札者決定基準に基づいて落札候補者を選定する。

3 落札者の決定

本組合は、委員会の総合評価結果に基づき、落札者を決定する。

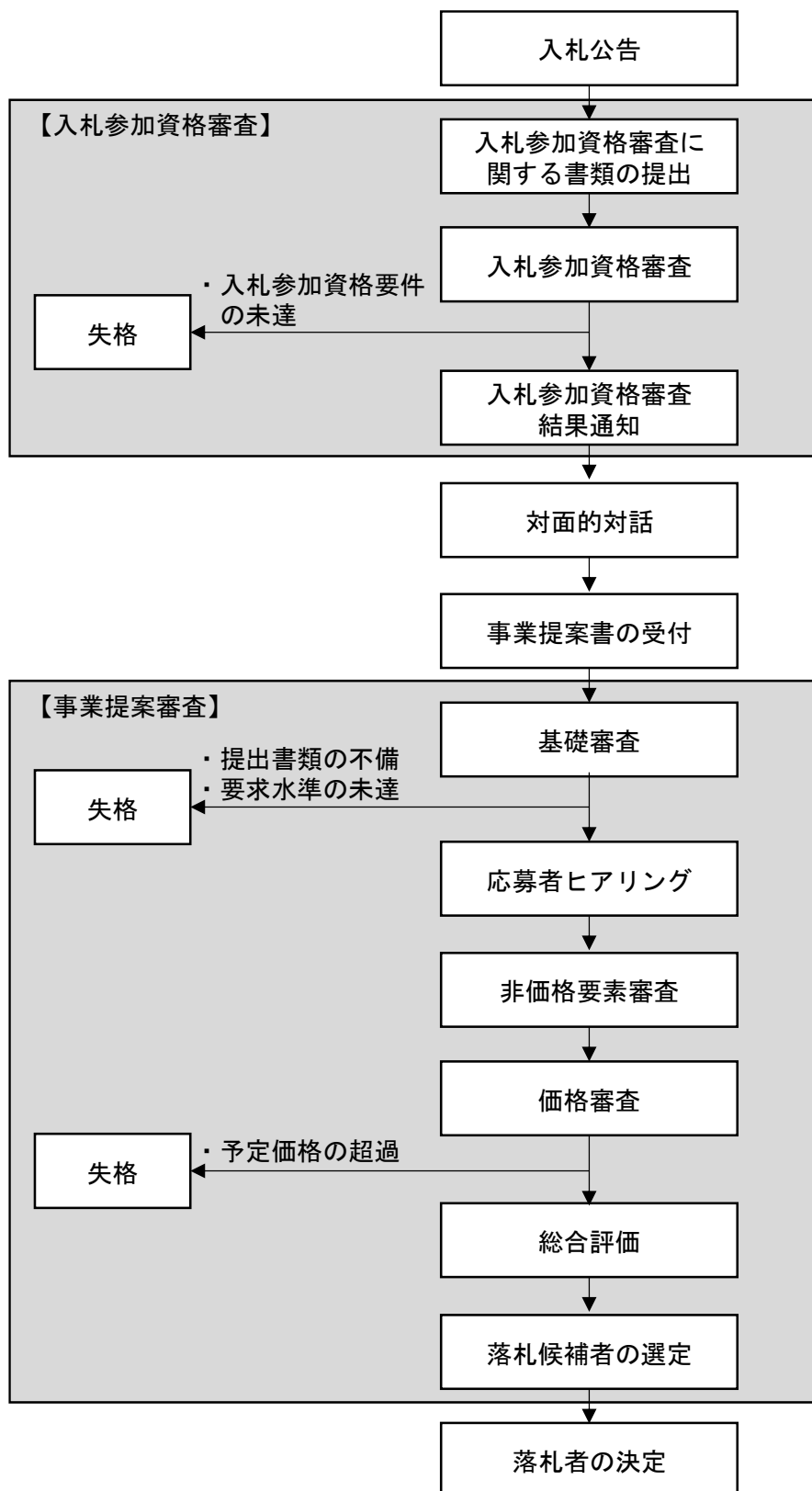


図 1 落札者決定の手順

第3節 事業提案審査の方法

1 基礎審査

応募者が提出した事業提案書について、次に示す基礎審査項目を全て満たしているか審査する。なお、本組合が軽微な不備・不足と考えるものについては、応募者へ個別に確認し、事業提案書全体に影響を及ぼさず部分的な訂正や対応の確認のみで問題ないと本組合が判断した場合、基礎審査項目を満たしていると判断する。

(1) 提出書類の確認

- ア 必要な書類がそろっているか。
- イ 入札説明書、様式集及び提出書類の作成要領に示した作成条件を遵守しているか。
- ウ 書類間の整合が図られているか。

(2) 事業提案書の内容確認

- ア 事業提案書の内容が要求水準を満たしているか。

2 非価格要素審査

(1) 審査項目及び配点

非価格要素点は、60 点満点とする。

非価格要素審査の審査項目及び配点を表 1 に示す。

表 1 非価格要素審査の審査項目及び配点

審査 区分	審査項目		No.	配点
	事項	項目		
非価格要素の定量化審査				60点
	1 設計・建設及び運営・維持管理に関する事項			45点
		屋外配置計画	1	7点
		屋内配置計画	2	7点
		作業環境	3	5点
		安定稼働	4	5点
		爆発対策・火災対策	5	5点
		公害防止対策	6	4点
		設計・建設段階の経済性・効率性	7	4点
		運営・維持管理段階の経済性・効率性	8	4点
		脱炭素社会への貢献	9	2点
		周辺環境との調和	10	2点
	2 事業計画に関する事項			15点
		地域経済への貢献	11	5点
		施工計画	12	4点
	組織体制・人員配置計画	13	3点	
	リスク管理・セルフモニタリング	14	3点	

(2) 審査基準及び得点化方法

非価格要素審査の審査項目における審査基準及び得点化方法を表 2 に示す。

各審査項目の得点は、各委員が個別に行う採点の平均値とする。なお、平均値を求める際は、審査項目ごとに小数点以下第 3 位を四捨五入して小数点以下第 2 位まで算出した値とする。

非価格要素点は、各審査項目の得点の合計値とする。

表 2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れており、提案内容に非常に大きな期待ができる	配点×1.00
B	優れており、提案内容に大きな期待ができる。	配点×0.75
C	提案内容に一定の期待ができる。	配点×0.50
D	提案内容に期待できるものが少ない。	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である。	配点×0.00

3 価格審査

価格点は、40 点満点とし、次の方法で得点化する。

価格点の算定にあたっては、定量化限度額を設定する。定量化限度額以下の価格で入札を行っても失格とはならないが、定量化限度額以下の入札価格の場合の価格点は 40 点満点とする。なお、定量化限度額は、開札時に公表する。

①【最低入札価格＞定量化限度額】の場合における得点化方法

価格点＝40 点×（最低入札価格／入札価格）

②【最低入札価格≦定量化限度額】の場合における得点化方法

価格点＝40 点×（定量化限度額／入札価格）

※価格点は小数点以下第 3 位を四捨五入して小数点以下第 2 位まで算出する。

※最低入札価格：応募者から提出された入札価格のうち最低の入札価格

※入札価格：当該応募者から提出された入札価格

※入札価格が定量化限度額以下の応募者の価格点は 40 点満点

4 総合評価

総合評価点は、非価格要素点と価格点の合計値とし、総合評価点の最も高い応募者を落札候補者に選定する。

総合評価点の最も高い応募者が複数ある場合は、入札価格の低い方の応募者を選定する。なお、入札価格も同額の場合は、当該者にくじを引かせて順位を決定する。当該者のうちくじを引かない者があるときは、当該入札事務に関係ない本組合職員が代わりにくじを引き、順位を決定する。

総合評価点＝非価格要素点＋価格点

第4節 事業提案審査の視点

委員会は、表 3 に示す審査の視点に基づき、事業提案審査を行う。

なお、各審査項目は、本組合が応募者に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

表 3 審査の視点

審査 区分	審査項目		No.	審査の視点	該当する施設整備の基本方針（基本コンセプト）	配点
	事項	項目				
非価格要素の定量化審査						60点
	1 設計・建設及び運営・維持管理に関する事項					45点
		屋外配置計画	1	・車両と車両、車両と人に対する安全確保、不要な周回を必要としない車両動線や一般持込み車両等にも分かりやすい場内誘導・サイン計画などの提案であるか。 ・一般持込み車両の動線について、安全かつ円滑に計量・荷下ろし・料金徴収ができる提案であるか。 ・年末等の繁忙期における車両集中対策について有効な提案であるか。 ・公害防止（騒音・振動・悪臭・粉じん等）の観点から、近隣集落及び周辺環境へ配慮した施設配置の提案であるか。	1) 安全で安定性に優れた施設 2) 環境にやさしく、資源循環型社会を推進する施設 3) 地域に親しまれる施設	7点
		屋内配置計画	2	・一般持込車両及び収集車両が安全かつ効率的に荷下ろしできる提案であるか。 ・受入れヤード、各プラント及びストックヤード等の配置及び動線について、作業員の安全確保や作業効率を考慮した提案であるか。 ・各設備の維持管理及び修繕工事時の作業効率性に配慮した提案であるか。 ・作業員関係諸室及び組合管理諸室の配置及び動線について、効率的かつ創意工夫がなされた提案であるか。	1) 安全で安定性に優れた施設	7点
		作業環境	3	・作業員の安全確保及び衛生対策・酷暑対策について配慮した提案であるか。	1) 安全で安定性に優れた施設	5点
		安定稼働	4	・各プラントにおける過去の故障事例等を踏まえ、耐久性の向上や故障防止対策について、安定稼働に資する計画性のある提案であるか。 ・本施設を25年間使用することを前提とし、計画的かつ効率的な保守管理・修繕計画となっているか。	1) 安全で安定性に優れた施設	5点
		爆発対策・火災対策	5	・爆発事故や火災に対して、過去の事例及びリチウムイオン電池等のトラブルへの対策を含め、設計面と運営面を考慮した実効性のある提案であるか。	1) 安全で安定性に優れた施設	5点
		公害防止対策	6	・施設稼働時の騒音・振動・悪臭・粉じん等の公害防止基準を遵守するための方策について、実効性が期待できる提案であるか。	2) 環境にやさしく、資源循環型社会を推進する施設	4点
		設計・建設段階の経済性・効率性	7	・用途に応じた建築物の構造・意匠等、各種建築コスト削減を考慮した設計となっており、かつ建設費全体の費用削減対策について、創意工夫のある提案となっているか。	4) 経済性や効率性に優れた施設	4点
		運営・維持管理段階の経済性・効率性	8	・下記に関し、運営・維持管理費の低減に資する経済性や効率性の高い提案であるか。 ①運営体制における工夫点 ②運転管理業務～関連業務の各業務における工夫点	4) 経済性や効率性に優れた施設	4点
		脱炭素社会への貢献	9	・プラント設備、建築設備及び運営面において脱炭素社会に貢献するための省エネルギー化が図られた提案であるか。	2) 環境にやさしく、資源循環型社会を推進する施設	2点
		周辺環境との調和	10	・来場者への圧迫感の軽減及び視点場（周辺市街地及び近隣集落）からの見え方に配慮し、周辺環境に調和した建築意匠（デザイン）、景観となることが期待できる提案であるか。	3) 地域に親しまれる施設	2点
	2 事業計画に関する事項					15点
		地域経済への貢献	11	・設計・建設工事において、地元企業を活用した実効性のある施工体制の提案であるか。 ・運営・維持管理において、地元企業からの資材調達や地元雇用に配慮した実効性のある提案であるか。	－	5点
		施工計画	12	・建設工事の施工管理体制及び安全対策について具体的で計画性のある提案であるか。 ・確実に工期を遵守するための施工計画及び対策について具体的で計画性のある提案であるか。 ・建設工事時の騒音・振動・粉じん・濁水等の環境対策について、周辺環境に配慮された実効性のある提案であるか。	－	4点
		組織体制・人員配置計画	13	・運営業務期間の組織体制及び運営管理体制について、各々の役割分担が明確であり、人員配置の工夫や効率性を考慮した妥当性のある提案であるか。	－	3点
		リスク管理・セルフモニタリング	14	・運営業務におけるリスク管理が十分に検討されており、想定されるリスクについての回避・低減策等について計画性のある提案であるか。 ・運営業務期間を通して、必要かつ十分なセルフモニタリングの内容及び頻度を期待でき、実効性のある提案であるか。	－	3点
入札価格の定量化審査						40点
	3 入札価格に関する事項					40点
		入札価格	－		－	40点

合計

100点

審査の視点に示す用語の定義は以下のとおりである。

「計画性」：課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する

「実効性」：求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する

「妥当性」：提案内容そのものが適切かどうかを判断する